

ちむろくち宇宙ニュース

↑ 打上げ成功！

鹿児島ロケット2号機
ユピテル号

12月25日、鹿児島ハイブリッドロケット研究会（Team KROX）と肝付町の共催で、「鹿児島ロケット2号機 ユピテル号」の打上げ実験を肝付町岸良の辺塚海岸で行いました。ロケットは目標高度450mを超え、実験は成功となりました。

※ハイブリッドロケット：燃える物質である「燃料」が固体で、それを燃やすための「酸化剤」は液体を使用したロケットで、爆発しない燃料を使うため、安全に取り扱えるのが特徴。

2019年9月に行われた1号機の打上げは目標高度400mには届きま



↑ 打上げ準備の様子



↑ 打上げの瞬間

せんでしたが、今回の2号機は1号機の反省を踏まえ、改良した上で、目標高度を450mと高くしました。大きな変化として、機体の外からエンジンに直接酸素を供給できるようにしたこと、点火が正常に行われるようになりました。7月にはエンジンの燃焼試験も行われており、鹿児島大学大学院の片野田教授は「打上げに向けて良い結果が得られた。」と改良した点に自信をもって話されていました。

そして、迎えた打上げ当日。午後2時30分に点火されると、炎を噴射しながら上昇し、あつという間に見えなくなりました。

打上げ後の片野田教授は「非常に満足のいく結果。心配とは裏腹にまっすぐ飛んでくれて嬉しかった。」とほっとした表情を浮かべていました。

学生のリーダーで鹿児島大学大学院2年の村岡慶一郎さんは「打上げの音を聞いたとき、大丈夫だと感じた。機体も回収でき完璧だったと思う。来年から社会人だがチームで取り組むこと

← 回収された機体と記念撮影



↑ 打上げ成功に安堵の表情を浮かべる片野田教授

を活かしていきたい。」と話されていました。

研究会の最終目標は、ハイブリッドロケットを通して、地域振興、人材育成、理科教育の振興、ハイブリッドロケットの学術研究への貢献を成すこと。片野田教授は「改良を重ね、高度100キロまで届くロケットを作りたい。」と今後の抱負を述べました。

最後に辺塚振興会の皆様をはじめ、関係者の皆様、ご協力いただきありがとうございました。